会議記録

令和6年度 第1回 静岡市交通政策協議会

1	日 時	令和6年12月9日(月) 14:00~15:30	
2	場 所	静岡市役所 上下水道局庁舎 7階 会議室	
3	出席者	南山大学総合政策学部 教授 静岡商工会議所 中小企業相談所 清水支所長 社会福祉法人静岡市社会福祉協議会常務理事 静岡鉄道株式会社 取締役専務執行役員 しずてつジャストライン株式会社 取締役運行企画部長兼輸送計画室長 都市交通デザイン会議 主宰 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 管理第二課 建設専門官 国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官 静岡中央警察署 交通課 交通規制係長 静岡南警察署 交通課 交通規制係長 清水警察署 交通課 規制係長 市民委員 市民委員 市民委員 ※ 静岡市自治会連合会の中村委員は欠席	石川 良文(会長) 小澤 美穂子 小幡 剛弘 三浦 孝文 藁科 孝佳 村井 裕 杉山 典之(代理) 増田 秀典(代理) 神保 隆希(代理) 鈴木 拓翔(代理) 井口 豊憲(代理) 神谷 敬子 小林 正枝 若月 雄介
	事務局	都市局都市計画部 都市局都市計画部交通政策課 生活交通係 企画係	松浦交通政策・ MaaS担当部長 塩澤参与兼交通政策課長 三輪主幹兼係長 上原主査 白石主任技師
	関係課	都市局都市計画部交通政策課 都市局都市計画部都市計画課	企画係 企画係 企画係 鈴木係長 萩原主査 工主査
4	議事内容	① 開会 ② 会長選出 ③ 協議事項 ④ 報告事項 ⑤ 閉会	
5	配布資料		
6	会議記録		

○開会【事務局】 交通政策課 三輪主幹兼係長

- ・配布資料の確認
- ・会議の成立報告（15名の委員のうち、14名の出席（うち代理5名））

○会長の選出

【事務局】 交通政策課 三輪主幹兼係長

今回は、令和5年10月の委員選出以降、初の会議の開催になりますので、静岡市附属機関設置条例第6条第1項の規定により、会長の選出を実施いたします。会長の選出は、同条例の規定により「委員の互選」によるものとされております。

皆様、会長にふさわしいと思う方の推薦をお願いします。

【小澤委員】

商工会議所の小澤です。引き続き石川先生に会長をお願いしてはいかがでしょうか。石川先生は、都市政策、交通政策の知見がおありで、これまでも当協議会の会長を務めていただいた実績があるため、適任ではないかと思えます。

【事務局】 交通政策課 三輪主幹兼係長

南山大学の石川教授が推薦されましたが、他の委員の皆様いかがでしょうか。ご承認いただける委員におかれましては、拍手をお願いします。

<出席委員全員が拍手>

【事務局】 交通政策課 三輪主幹兼係長

ありがとうございます。以上より、石川委員が会長に選出されました。石川会長、どうぞよろしくをお願いします。

○会議の公開の可否

【石川会長】

本日の会議の公開について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】 交通政策課 上原

会議の公開の可否については、静岡市が定める「附属機関等の会議の公開に関する

要領」に基準が定められており、静岡市情報公開条例第7条各号に定める、個人識別情報を始めとする非公開情報を含む内容について審議を行う場合を除いて、原則として公開することとされています。

そして、同要領により、公開・非公開の決定は、その会議において行うこととされていますので、本日これを決定する必要があります。

なお、事務局は、本日の議事内容は非公開情報を含む内容ではないため、公開とするのが相当だと考えております。

【石川会長】

事務局の見解を踏まえ、会議は、公開とさせて頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

【石川会長】

それでは、本日の会議は公開とさせていただきます。

○署名人の決定

【石川会長】

会議録の署名人について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 交通政策課 上原

当会議については、静岡市が定める「附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき会議録を作成し、出席委員の確認を受けることとなっています。

本日の会議の会議録を確認する委員は、委員名簿の順に従い、静岡市社会福祉協議会の小幡委員をお願いしたいと考えております。

【小幡委員】

分かりました。

【石川会長】

それでは、会議録の署名につきましては、小幡委員をお願いします。

○議題 1

協議事項：静岡市地域公共交通計画の策定について

【石川会長】

協議事項 1 の静岡市地域公共交通計画の策定について、関係課から説明をお願いします。

【関係課】 交通政策課 萩原主査

資料 1 ー①から資料 1 ー③までに基づき説明

【石川会長】

ご説明ありがとうございました。

先ほどご説明いただいたように、市の地域公共交通計画については、地域公共交通会議で実質的に議論されます。交通政策全般に関わるということで、この協議会でもご説明いただきまして、皆さんの意見が聞きたいということです。

その意見を市の方には受け止めていただいて、しっかりと計画策定に臨んでいただきたい、そういう趣旨でございます。

補足的に説明いただいた資料 1 ー③に、意見がある方は意見を書いていただいて、それを踏まえて策定に活かすということですが、この場合はせっかくお時間がありますので、意見を皆さんからいただきたいです。

ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がありましたら、お願いします。

【神谷委員】

市民委員の神谷です。説明を聞いていると、様々な社会問題を挙げていますけれども、今日集まった皆さんで改善する予定ですか。

【石川会長】

ここで、今の計画の案について、社会情勢の変化を踏まえて意見をいただいて、その意見を市の方で参考にして計画の具体的な最終稿を詰めていきます。

もちろん、意見をいただいたことで、我々が今現在色々な交通の問題をそれぞれが受け止めてということもあるのですが、まずはご意見いただいたものを計画に反映する、そういうイメージです。

【小幡委員】

市社会福祉協議会の小幡と申します。専門家ではないので的外れな意見を言うかもしれません。

概要版の9ページの基本方針1、「既存の交通資源を集約し、新しい交通サービスを導入した利便性の高い都市交通サービスを構築する」の部分、説明では既存の交通資源の集約というのは、2種ドライバー、人の問題で適正配置のことを特に押さえているのかなと読んだのですけれども、交通資源が人自身というのは何となくピンとこなかったものですから、人だけでなく様々な資源を考えると、「交通資源を最適化する」とか、「ネットワーク化」、「繋いでいく」とか、そのような表現の方がいいのかなというように感じたのが1点です。

それから、概要版の13ページ、目標とモニタリングの部分ですけれども、先ほどから説明を受けていますが、いわゆる交通政策の課題と、目標のところ、市内鉄道駅乗車人員、路線バス利用者数の目標値という部分について、課題と目標が合っていないのではないかと。人の問題を課題として挙げるならば、例えば人を何人確保するか、そういう明確な目標でないと、ずれているなど。

あるいは、モニタリング指標につきましても、鉄道運行本数は現状維持となっていますが、現状維持に留まってよいのだろうかと思いました。

それから、計画の詳細版の58、59ページ、公共ライドシェアの関係のところなんですけれども、自家用有償旅客運送など地域でできることは積極的に取り組んで行かなければならないと思っておりますし、公共ライドシェアの実施では事業者と連携していかないと、地域だけでは完結できないと思っています。しかし、例えば、交通空白地有償旅客運送事業、非常に有効な事業だと思うのですけれども、建付けとすると民間事業者を圧迫しないようにというような形の中で交通費が半額程度になっているかと思うのですが、そういうような部分でいくと発展性について問題があるのかなと思う気もするところです。

先ほど説明の中で補助制度もというお話もありましたので、事務局でも検討されていると思うのですけれども、道路運送法の関係だと思えますけれども、制度やその運用を改革、改善をしていかないと、地域でのこういう自発的な活動というのは、現状制約が大きすぎるのかなと感じています。

【石川会長】

ありがとうございます。今、3点ご意見をいただきました。

まず1点目、意味解釈でもありますので、どういう意図であったか説明をいただきたいと思います。「交通資源」というのは、どのような意味合いで捉えていますでしょうか。

【関係課】 交通政策課 萩原主査

資源に関しては、主にドライバーの不足が課題となっているので、大型バスを運転できるプロのドライバーについては都市部の方で、大量輸送、中量輸送をやっていただくというのが主にはなるのですけれども、その他の地域も適正配置ということを考えています。

【関係課】 交通政策課 鈴木係長

ちょっと補足させていただきますと、市だけの施策ではない部分もあるのですけれども、バスを例にとりますと、集約化、適正配置ですと、路線に合わせて、例えば営業所規模の見直しであったり、そういったところも含めて交通資源の集約化とか適正化というところを目指していくという考えを計画で示していければというように思っています。

【石川会長】

これは、色々な交通モードの同等のものについての意味まで含んでいるのですか。

【関係課】 交通政策課 鈴木係長

はい。いわゆる交通資源と呼ばれるものは、人だけではなくて、車両を含めた交通の全体と言いますか、手段も含めた全体を集約していきます。

【石川会長】

概要版でご説明いただくと意味合いが分かりにくいところもありますけれども、最終的な計画書としてまとめる際には、今の委員のおっしゃられたような意味合いを汲み取れるようなものになっているといいかなと思います。

小幡委員よろしいでしょうか。

【小幡委員】

そうですね。説明など内容部分で少し触れられていた方が分かりやすいのかなと思ったところです。

【石川会長】

そうですね。色々な方が色々な意味で受け取られると思いますので、丁寧な説明があるといいかなと思いました。

あと、ご意見を3点伺っていますけれども、目標の点ですとか、それから、本文の52ページにあるようなところのご意見ですね。これはまた参考意見として事務局で捉えて最終的なものとしていただければと思います。

その他何かございますでしょうか。

【増田委員代理】

静岡運輸支局でございます。先ほど公共ライドシェアのお話がありましたけれども、制度自体が最近条件が緩和され、動きが活発化しています。

従来ですと、意見があっても何年か経ってやっと変わる、なかなか法改正も伴うものですから、ということがあったのですが、最近交通空白地の部分が全国的に深刻になっているということもありまして、かなり制度自体が変わってきているところです。

まず、運賃のところですが、従来は運賃の2分の1程度という目安があったかと思うのですが、現在8割程度までというように変わってきております。

また、導入に関しましても、これまではNPO法人さんなどが運行の担い手であることが一般的には多かったのですが、最近事業者協力型ということで、プロの方が一部、例えば運行管理とかをですね、タクシー事業者が担うような事業者協力型の公共ライドシェアというのを導入される自治体さんが結構増えてきております。静岡県内だと浜松市の庄内地区でやっています。交通空白地有償旅客運送で運行管理の部分を事業者さんが担って運行しております。

やはり一番大事なのは、利用者の方を安全、安心に目的地まで運ぶということが最も重要視すべきところでございますので、これまでとは違った手法による公共ライドシェアについての考え方を、ぜひ自治体さんの方でもお考えいただきながら進めていただければというように考えています。

【石川会長】

ありがとうございます。小幡委員のご意見を踏まえてのご説明だったと思いますが、色々な条件緩和がされているというところもありますので、市の方でも、それを踏まえて計画策定をしていただければと思います。

それでは、その他何かございますでしょうか。

【若月委員】

市民委員の若月です。

ここに書いてあることについては、とても内容的に分かりやすく書いてあるのですが、ある意味総花的ではないか。そして、他の地域もそれぞれ、例えば浜松もやっているでしょう、静岡もやっているでしょう、でも、静岡と浜松だと状況が全く違うのでこれとはやり方が違うと思うのですけれども。

特に静岡の場合というのは、放射線状に駅から伸びている、まあバスが中心だと思いますが、放射線状はある意味便利なのですけれども、特に駅の南側の横のライン、例えば、取り付け道路から区役所まで行こうと思ったら、駅まで行って、そこからバスに乗ってまた区役所まで行かなければいけないというような形になるのですけれども、駅の南側、いわゆる東京オリンピック以降に発達した地域というのは、どうしても東西が公共交通で直接繋がっていないので、この辺のことをちょっと踏まえていただくとありがたいなという風に思います。

もう1点は、静岡市としてこういう風に色々な形で公共交通機関を利用したい、それから色々な鉄道も利用するというようなことがあるんですけれども、ハードの部分で、例えば運転手さんがいないからバスが少なくなるというようなことを含めると、埼玉でしたっけ、駅から郊外の工場部まで何とかレール、昔で言うところの昭和39年頃までのまた静岡鉄道の路線電車が走っていた頃をどうしても思い出すのですけれども、何か静岡らしいことを、あと5、6年くらいで交通公共機関としてこれがやりたいたんだということをがあれば教えていただくと助かります。色々なものがあるんでしょうけれども。

【石川会長】

ありがとうございます。2点、今ここで市の考えは言えないかもしれませんが、ご意見いただきましたので市の方でお答えさせていただきます。

【関係課】 交通政策課 鈴木係長

静岡市の特徴になるのかなと思うのですけれども、静岡駅を中心に放射線状にバス網が伸びているというのが現状でございます。

特に、駿河区だとは思いますが、東西の移動についてはバス網がないのでなかなか難しいという声もいただきます。過去にはバスみたいなものを試験的に走らせたこともあるのですけれども、なかなか収支の部分で、利用者さんもそれほど多くな

かったこともありまして、そこをどうするかというのは課題と言えば課題なので。

ちょっと今現状、答えはこうだという話はないのですけれども、今、バスだけじゃなくて、いわゆるタクシーなどにライドシェアっていうもの出てきて、今後どうなるか分からないのですけれども、その辺りを組み合わせて、利用の規模とか需要に応じたいいわゆる交通網、バスだけじゃない部分をどういった形で組み合わせてやっていくかというのが、今後検討しながら計画の中で示していければと思っています。

【石川会長】

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

【若月委員】

はい。

【石川会長】

それでは、その他何かございますでしょうか。

そうしましたら、せっかくこの資料1の3の意見書にフォーマットがありますので、ご意見がある方は24日までにご意見いただくようお願いします。

○議題2

報告事項：静岡都心地区まちなか再生事業について

【石川会長】

次に報告事項に移ります。2番目の静岡都心地区まちなか再生事業についてご説明をお願いします。

【関係課】 都市計画課 工主査

資料2に基づき説明

【石川会長】

ご説明ありがとうございました。ただ今静岡都心地区まちなか再生事業についてご説明いただきましたけれども、これに関して何かご意見、ご質問等ありましたらお願いしたいと思います。

【小幡委員】

静岡市の呉服町中心部は、全国でも元気な街だなと思っておりまして、市の施策が進められるんだなと思いながらお聞きしていたのですけれども、防火建築のことが書かれておりますので、防災の視点は当然入っているかと思うのですけれども、やはり災害が、非常に何が起こる分からないような、そういうような時代になってきている中で、防災の視点は防火建築以外にもあるのだろうなと思うのですけれども、その辺がもっと打ち出されてもいいのかなという印象を持ったということだけ発言させていただきます。

【石川会長】

ありがとうございます。

これは報告ということですが、これからまちづくりをしていくに当たって非常に大事な観点かと思っておりますので、ご参考にしていただければと思います。

【関係課】 都市計画課 工主査

ご意見ありがとうございます。おっしゃる通りで、やはり防災が非常に大事なことなのかなと思っております。建て替えの話がまず1つ、交渉をしっかりと速やかに進めるというのがやるべきだと思っておりますし、今おっしゃったみたいに、地域の方々が結構防災訓練ですとか、そういったものに自主的に取り組んでいるものに対して、我々の方も総合的に政策パートナーたちと合わせて取り組んでいければなと思っております。

【石川会長】

その他何かございますでしょうか。

こういった街中がどうなるかということは皆さん本当に色々に関心がおありだと思います。ここは交通政策協議会ですが、交通、人の移動とも大きく関わっていますので、色々ご意見いただければと思います。

ちょっと私から、質問してもよいでしょうか。再生指針案の6ページに基本的な方針案がありますけれども、濃い青色の軸が書かれていましたが、これは何でしょうか。この軸に沿って何かまちづくりとしてどうするとか、この街全体としての移動性という意味での軸なのか、その意味合いを教えてください。

【関係課】 都市計画課 工主査

これはラフなイメージになってしまいますが、東海道がやはりこの街中の軸として非常に機能しているのではないかとということで表現として入れていまして、そこに沿った、今回重点エリアの中でも、呉服町通り、県庁通りなど街中でも価値がある場所、これから更新の中で非常に重要な箇所になるということがありますので、ちょっとそういった意味で表現をさせていただいております。

【石川会長】

ありがとうございます。私は駅からここまで来る間にちょっと時間があつたので、色々な場所を見ながら来たんですけども、この静岡の街並みは私にとってとても楽しく思いました。人の往来は3割ぐらい減ってしまったという話がありましたけれども、色々な地方都市に行きますけど、結構賑わっているような感じがしました。また、古くからやってらっしゃるお店があつたり、新しいお店があつたりという、そういう新しいとこと、歴史的な感覚、文化的な感覚が混ざっているのがとても面白いと思ったんですね。

ですので、防災だとか耐震だとか、特にすごく大事だとは思いますが、何か古くからのものを残していくような感覚でのまちづくりも大事かなという風に思いました。せっかく駿府城も含めて街中に色々な歴史、文化があるので、そういったところを大事にしながら新しいものを取り入れていければと、歩きながら思った次第です。

他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

<意見なし>

【石川会長】

それでは、以上で本日2つの議事がありましたけれども、全て終了いたします。委員の皆様におかれましては、円滑な進行に努めていただきまして、ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

○事務連絡・閉会

【事務局】 交通政策課 三輪係長

会長及び委員の皆様、活発な議論、ご意見を本当にありがとうございました。ここで事務局から2点報告事項がございます。

まず1点目は、本協議会である静岡市交通政策協議会と、静岡市自転車等対策協議会の統合についてです。本市では、自転車の走行環境の確保や自転車利用者の質の向上を目的とした静岡市自転車等対策協議会を設置しております。

ただ、自転車利用を主目的とした対策、こちらにつきましては一定の成果が得られていることにより、次の段階として、サイクル&バスライドやシェアサイクルなど総合的な交通体系の中に自転車を位置付け、他の交通手段との連携を図るための施策を立案、推進していく状況となっております。

そこで、この静岡市自転車等対策協議会を、今回この静岡市交通政策協議会に吸収させて統合する予定でいます。時期につきましては、来年度の4月1日で考えております。

今後、各委員の皆様には詳細が決まってきましたら、個別に連絡させていただきますので、またよろしく申し上げます。

次に2点目についてです

【事務局】 交通政策課 塩澤参与兼課長

本日委員の皆様にはチラシを配布させていただきました。年末年始のタクシー混雑運行状況見える化サービスということで、先週の12月2日から始まったところですが、NHKなど民放各社に夕方の情報番組で取り上げていただいた内容です。

こちらのサービスでは、JR静岡駅北口、それから南口のタクシー乗場を定点カメラでライブ配信を24時間しております。

年末年始で忘年会シーズンに入ったという中で、今年の12月なんかですと、やはりタクシー待ちの行列ができたという話を聞いております。これが、例えば飲んでいるお店にいて、忘年会の最中に終わった頃にこちらのカメラを見ていただきますと、まだ並んでいるなど、もう1杯、あるいはもう1軒といったような、皆さんの判断にはなりますけれども、市としては経済効果に繋がっていくことを期待しているところがございます。

資料のチラシの中段にQRコードを記載しており、こちらを読み取っていただきますと、市のホームページに行きまして、そこから南口と北口のYou Tubeに繋がるようになっていきます。

併せてですね、タクシーの配信アプリ、DiDiとGOですけれども、PRしていただいております。初めての方限定で500円のクーポンですが、こちら活用していただければタクシーを探しに行くのではなく、タクシーに来てもらう使い方もできる場所です。

また、この配車アプリは、日本版ライドシェアに対応しています。静岡市では7月

から始まっていますけれども、当初は3台、この12月からは8台の稼働、大都市圏からすると決して多いとは言いつらいところはありますけれども、こちらも活用できるというところではあります。

タクシー事業者さんに稼働、これから特に12月の稼働台数を多くしていただいて、昨年の12月ですと、深夜の時間帯で190台から240台に乗車しているというところがございます。

こちらのチラシについては、商工会議所さんにも協力いただきながら、街中の商店街の皆様にも協力をいただきながら駅周辺の飲食店への配布をさせていただいております。こちら、職場に帰ってPRしていただければと思いますので、よろしく申し上げます。私からは以上です。

【事務局】 交通政策課 上原主査

以上で本日の協議会を終了します。どうもありがとうございました。

確認 会長 石川 良文

委員 小幡 剛弘